

## 北大阪健康医療都市を中心とした健康・医療のまちづくりの現状と今後に期待すること 吹田市歯科医師会 疋田陽造

### (1) 健都の現状についての所感

歯科に関しては、ビエラ岸辺健都の医療モールにおいて当会の会員として歯科診療所が開業し診療だけでなく地域歯科保健活動にも尽力されています。

国立循環器病研究センターにおきましては、10月に歯科口腔外科部長に会員となって頂きました。院内の患者様を診療されていますが、紹介患者の外来も既に行われていると聞いており、地域歯科医療にご貢献いただいております。

市立吹田市民病院の障害者歯科には、今後ともリスクが高い障がい患者様の紹介を受けて頂くようお願いします。また、地域歯科医師会として周術期の管理や退院支援も含めた病診連携をさらに深めていただきたいと期待しております。

ウェルネス住宅である「エイジフリーハウス吹田健都プレミア」に入居される歯科診療所につきましても、健都にふさわしい地域に根差した社会貢献活動をしていただくためにも是非会員として迎えたいと考えています。

昨年より順次始まった新しい街でありますので、それぞれの関係機関の充実を待って、連携を深くし、健康・医療のまちづくりを継続することを期待します。

また、そこに地域歯科医師会として協力できるような体制を整えてまいります。

### (2) 今後の期待と各団体の取組の方向性

#### <健康寿命の延伸>

国循と歯科の共同研究として、脳神経内科の猪原匡史部長、齊藤聡医師が、大阪大学大学院歯学研究科の仲野和彦教授らと「虫歯・歯周病と脳卒中・認知症との関連を検証する世界初の多施設共同前向き観察研究の開始：RAMESSES 研究」を行われています。他の報告にも、アルツハイマー型認知症の誘発と症状悪化に歯周病菌が関与しており口腔機能管理（口腔ケア）によって予防できるとあります。当会の会員は、日々、訪問歯科診療で多くの個人宅や介護施設に入所している認知症や循環器系疾患を既往とする患者様を診療しているので、多くの症例数により協力できることがあると思います。健都内でのウェルネス住宅においても訪問歯科診療実施が実現できれば症例を確保できます。また、歯周病菌が全身へ及ぼすリスクとして、「がん」は、リスクが1.24倍 糖尿病は、2.0倍 脳梗塞（脳血管疾患）は、1.63倍 狭心症・心筋梗塞（虚血性心疾患）は、2.11倍 に高まると報告されています。従って歯周病菌を減少させる口腔ケアや歯科治療によってリスクを軽減することができ、予防にもつながります。ひいては、国民医療費を削減し健康寿命の延伸にも貢献することになります。会員診療所に来院する多くの患者様が生活習慣病か、予備群であり、歯科疾患と生活習慣病との関連性の研究も国循で行われるなら協力できます。

健栄研やイノベーションパークに進出する企業には、栄養摂取の分野でオーラルフレイル状態の患者様に誤嚥しにくい食形態の食品を考案していただければ窒息や誤嚥性肺炎を防ぐことができます。私たち歯科医師も口腔機能管理（口腔ケア）で誤嚥性肺炎の発症リスク

を6割以下に減少させることができるという報告もあるので、コラボすれば、フレイル状態の高齢者の健康の回復に寄与できるのではないかと考えます。

余談ではありますが、歯数と義歯は「寝たきり」に関連しており、歯がなく義歯未使用で転倒リスクが2.5倍になります。まさに、しっかり噛めることによって転倒を予防できます。以前から、スポーツ選手が歯科治療を受けることによって成績が向上することが体験としてわかっており、体のバランス感覚が関与しているのではないかと考えられますが、まだ明らかになってはいません。健都域内のフィットネスクラブやデイサービス施設等とIOTで得られた情報を共有することで明らかにできるのではないかと思います。その結果をAIで分析し、適切な指導や口腔機能管理に繋げることができると期待します。

### <地域医療の推進>

会員診療所を先頭に、まずは健都が新しく誕生した街ですので、他の地域に劣ることが無いよう周辺の住民の方々も含めて歯科保健の充実に努めています。吹田市口腔ケアセンターの事業や歯科医師会が協力し市が開催している65歳以上対象の介護予防事業である、口腔機能向上講演会やお口から始まる健康教室も紹介していきます。

国立循環器病研究センターには、地域医療連携として会員診療所に来院された患者様で、特に循環器系疾患の既往症があり慎重を期する方の抜歯や口腔内の外科処置の紹介や退院後自宅に戻られた際の歯科治療継続の逆紹介等をお願いしているところです。また、循環器系疾患と歯科疾患の関連の研究などにおいて、地域歯科医師会としてデータ収集等協力できることが多くあると思います。歯科医師会は、学術団体でもあり、毎年多くの学術講演会を開催しております。日々来院される患者様や訪問歯科診療の患者様には、多くの循環器病を抱えた方がおられますので、注意点等を医科歯科連携の演題として講師をお招きしたいと考えています。

市立吹田市民病院には、今後とも周術期における医科歯科・病診連携をお願い致します。

ウェルネス住宅であるエイジフリーハウス吹田健都プレミアに入居される歯科診療所につきましても会員になっていただき、一般診療の傍ら、地域包括ケアシステムの一翼を担い、上階のサービス付き高齢者向け住宅の要介護者への訪問歯科診療を他の歯科医師会会員と共に実施して頂きたいと考えています。